



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月8日

上場会社名 ダイトウボウ株式会社
コード番号 3202 URL <http://www.daitobo.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山内 一裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 三枝 章吾

TEL 03-6262-6565

四半期報告書提出予定日 2023年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	897	6.1	80	142.6	44		31	
2023年3月期第1四半期	956	9.2	33	71.3	10		11	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 30百万円 (249.8%) 2023年3月期第1四半期 8百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	1.04	1.04
2023年3月期第1四半期	0.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	20,361	4,792	23.5
2023年3月期	20,433	4,790	23.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 4,780百万円 2023年3月期 4,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		0.00		1.50	1.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,200	13.1	165	83.1	75		70		2.32
通期	4,700	17.6	400	86.5	210	832.2	200	189.3	6.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	30,311,000 株	2023年3月期	30,311,000 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	68,825 株	2023年3月期	68,775 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	30,205,387 株	2023年3月期1Q	30,071,438 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、4月には新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行もあり、消費者マインドの改善傾向が明確となり、個人消費や企業の景況感も持ち直し、緩やかな回復が続きました。一方、円安・資源高を背景に、消費者物価の上昇が続いている点には注意を要する状況でした。

このような中で、当社グループは、「中期経営計画ブレークスルー2024 ～PROGRESS IN THE NEW NORMAL～」の最終年度となることを踏まえ諸課題達成に向けて鋭意取り組みました。

商業施設事業におきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、前期にスタートした本館の区画見直し工事が完了し、ゴールデンウィーク前に、ユニクロ系列のGUがオープンしたほか、新規テナント開業や販促イベントの強化に取り組みました。ヘルスケア事業とせんい事業におきましては、国内市況の回復に伴い、国内での販売力強化に取り組みました。ただし、せんい事業においては前年同期に好調であった中国連結子会社が売上を大幅に落としました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は8億97百万円（前年同期比6.1%減）となり、営業利益は80百万円（前年同期比142.6%増）、支払利息などを加味した経常利益は44百万円（前年同期は経常損失10百万円）となりました。これに、法人税等の負担を考慮した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、31百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円）と、第1四半期としては4期ぶりの黒字決算となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(商業施設事業)

商業施設事業につきましては、静岡県下有数の商業施設である「サントムーン柿田川」において、区画工事期間中の一部区画閉鎖の影響があったものの、ゴールデンウィークからは新店オープンの効果や販促イベントの強化により、売上高は前年同期並みを確保し、さらに市況回復や減価償却費減少などによる利益率改善により営業利益は前年同期を上回りました。

この結果、商業施設事業の売上高は5億40百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は2億17百万円（前年同期比10.9%増）と前年同期比増益となりました。

(ヘルスケア事業)

健康ビジネス部門につきましては、温熱電位治療器や当社独自技術のバイオ麻の販売が伸びて、売上高は前年同期を上回りました。一般寝装品部門につきましては、夏物商材が順調で、売上高は前年同期を上回りました。また、採算改善効果により、ヘルスケア事業における営業損失幅は縮小しました。

この結果、ヘルスケア事業の売上高は2億42百万円（前年同期比15.7%増）、営業損失2百万円（前年同期は営業損失21百万円）と営業損益は前年同期比改善しました。

(せんい事業)

衣料部門につきましては、国内アパレルOEMの売上高は前年同期を上回りましたものの、前年同期に好調であった中国現地法人の売上が大幅に減少したため、前年同期比で約1億円の減収となりました。ユニフォーム部門につきましては、官需ユニフォームが順調に推移し売上高は前年同期を上回りました。

この結果、せんい事業の売上高は1億14百万円（前年同期比44.2%減）となりましたものの、ユニフォーム部門の採算改善や衣料部門の販管費削減効果があり、営業損失2百万円（前年同期は営業損失10百万円）と営業損益は前年同期比改善しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は203億61百万円で、前期末比71百万円減少しました。その内、流動資産は23億38百万円で、前期末比19百万円減少しました。その主な要因は、営業キャッシュ・フローの獲得により現金及び預金11億29百万円におきまして1億17百万円増加したこと、売上債権の回収により受取手形及び売掛金3億61百万円におきまして2億円減少したこと、仕入により棚卸資産8億9百万円におきまして85百万円増加したこととであります。また、固定資産は180億23百万円で、前期末比52百万円減少しました。その主な要因は、有形固定資産173億97百万円におきましてリース資産の取得などにより90百万円増加したものの、減価償却費などにより1億16百万円減少したことと等とあります。

負債の残高は155億69百万円で、前期末比73百万円減少しました。その内、流動負債は44億8百万円で、前期末比28億78百万円増加しました。その主な要因は、一年以内に返済期限が到来する借入金を固定から流動に振り替えたことにより短期借入金34億58百万円におきまして28億97百万円増加したこととあります。固定負債は111億60百万円で、前期末比29億52百万円減少しました。その主な要因は、約定弁済及び流動へ振り替えたことにより長期借入金68億77百万円におきまして、30億37百万円減少したこと、新たなリース契約により固定負債のその他1億11百万円におきまして85百万円増加したこととあります。

純資産の残高は47億92百万円で、前期末に比べ1百万円増加しました。その主な要因は、四半期純利益の計上により31百万円増加したものの、配当金の支払により30百万円減少したこと、保有株式の時価上昇によりその他有価証券評価差額金が9百万円増加したこと、金利スワップの時価評価により繰延ヘッジ損益が8百万円減少したこととあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月10日発表の予想数値に変更はありません。なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,011,144	1,129,049
受取手形及び売掛金	561,203	361,075
棚卸資産	724,191	809,452
その他	62,144	39,505
貸倒引当金	△1,270	△870
流動資産合計	2,357,414	2,338,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,951,635	7,965,698
土地	9,265,726	9,265,726
その他(純額)	216,851	166,173
有形固定資産合計	17,434,213	17,397,599
無形固定資産		
のれん	142,481	138,879
その他	19,987	16,871
無形固定資産合計	162,469	155,750
投資その他の資産		
投資有価証券	337,804	351,690
破産更生債権等	83,256	83,256
繰延税金資産	100,237	77,045
その他	38,420	38,382
貸倒引当金	△80,228	△80,228
投資その他の資産合計	479,490	470,146
固定資産合計	18,076,173	18,023,496
資産合計	20,433,587	20,361,709

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	253,240	326,561
短期借入金	561,324	3,458,864
未払法人税等	4,297	209
賞与引当金	37,539	27,378
株主優待引当金	28,000	—
その他	645,445	595,733
流動負債合計	1,529,846	4,408,747
固定負債		
長期借入金	9,915,306	6,877,435
長期預り保証金	1,370,427	1,372,069
再評価に係る繰延税金負債	2,476,495	2,476,495
退職給付に係る負債	267,039	267,748
資産除去債務	55,644	55,772
その他	28,482	111,387
固定負債合計	14,113,394	11,160,909
負債合計	15,643,241	15,569,657
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	25,901	25,901
利益剰余金	15,030	16,305
自己株式	△9,784	△9,788
株主資本合計	131,147	132,417
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△984	8,492
繰延ヘッジ損益	△28,544	△37,337
土地再評価差額金	4,664,864	4,664,864
為替換算調整勘定	13,556	12,200
その他の包括利益累計額合計	4,648,890	4,648,219
新株予約権	10,307	11,415
純資産合計	4,790,346	4,792,052
負債純資産合計	20,433,587	20,361,709

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	956,047	897,839
売上原価	682,908	585,995
売上総利益	273,139	311,844
販売費及び一般管理費	239,914	231,243
営業利益	33,224	80,601
営業外収益		
受取利息	—	29
受取配当金	3,513	3,737
持分法による投資利益	162	—
固定資産売却益	—	10,035
その他	547	1,305
営業外収益合計	4,223	15,106
営業外費用		
支払利息	45,279	50,024
持分法による投資損失	—	81
その他	2,796	1,252
営業外費用合計	48,076	51,358
経常利益又は経常損失(△)	△10,628	44,350
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△10,628	44,350
法人税、住民税及び事業税	1,464	584
法人税等調整額	△292	12,249
法人税等合計	1,171	12,833
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,799	31,516
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,799	31,516

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△11,799	31,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,596	9,476
繰延ヘッジ損益	23,735	△8,792
為替換算調整勘定	4,478	△1,355
その他の包括利益合計	20,617	△671
四半期包括利益	8,817	30,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,817	30,845
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	73,171	209,806	205,542	488,520	—	488,520
その他の収益	467,526	—	—	467,526	—	467,526
外部顧客への売上高	540,698	209,806	205,542	956,047	—	956,047
セグメント間の内部売上高又は振替高	114	—	—	114	△114	—
計	540,812	209,806	205,542	956,161	△114	956,047
セグメント利益又は損失(△)	196,202	△21,165	△10,174	164,862	△131,638	33,224

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△131,638千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商業施設事業	ヘルスケア 事業	せんい事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	78,607	242,792	114,782	436,181	—	436,181
その他の収益	461,658	—	—	461,658	—	461,658
外部顧客への売上高	540,265	242,792	114,782	897,839	—	897,839
セグメント間の内部売上高又は振替高	114	—	—	114	△114	—
計	540,379	242,792	114,782	897,953	△114	897,839
セグメント利益又は損失(△)	217,586	△2,161	△2,165	213,258	△132,657	80,601

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△132,657千円は各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費である。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項なし。